

<http://www.kyoto-nanbu.org/>

公共交通を「安全」に御利用ください

地域の市民生活、経済活動における移動の足を担っているバス事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う在宅勤務の推進等の影響により、乗客の大幅減等、大変厳しい状況にあり、この状況が続けば、存続が危うくなります。

バスは利用者がマナーを守れば「安全」な乗り物ですので、是非、ご利用ください。

【「安全」に公共交通を利用いただくために】

バス・電車・船・タクシー御利用の際は、咳エチケットとともに、①換気、②「目・鼻・口」を触らない、③乗車内での会話は控えめにし、必ずマスク着用する、という3つのポイントに皆が注意すれば、感染リスクは「ほとんどない」とされています。

<一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議（所在地：京都市、代表理事：藤井聡京都大学教授、JCOMM（読み：ジェイコム））啓発ポスター>

<https://image.jimcdn.com/app/cms/image/transf/dimension=960x10000:format=png/path/sbcc4d6830fcbe243/image/i88e80bf1d1af6d4d/version/1600831854/image.png>

【らくなん進都における取組】

らくなん進都の交通網に大きく貢献しているバス事業者（京都市バス、らくなんエクスプレス、京阪バス）では、政府および自治体等による感染拡大予防のための各種ガイドラインに基づき、車内、施設の感染予防対策を徹底することに加え、各種サービス等についても、感染拡大予防に取り組まれています。ここでは、協議会会員の㈱ケイルック様（らくなんエクスプレス）、京阪ホールディングス㈱様（京阪バス）の取組について御紹介させていただきます。

○らくなんエクスプレス（R'EX）の取組

さる10月15日でR'EXは運行開始から10年を迎え、延べ300万人の足を支えてきました。

・「密」対策としての増便

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、利用者の減少がみられたことから一部減便されていましたが、この度、朝は京都駅6:50発から6便、夕はパルスプラザ20:50発まで4便、通勤の時間帯の合計10便が復活することに。

<https://klook.co.jp/topics/info/711/>

・飛沫感染防止、消毒等の徹底

乗務員は出庫前点呼前に手洗いおよび手指消毒を行い、検温を実施。乗務員はマスクを着用し、運転席をシートで囲んで飛沫感染を防止。エアコンによる外気導入や窓開け等の車内換気を行い、車内換気を徹底。車内は次亜塩素酸による拭き取り消毒を徹底し、菌・ウイルスの繁殖を抑制。

https://klook.co.jp/service/covid19_countermeasure.html

○京阪バスの取組

京阪バスは1922年（大正11年）の設立以来100年近くにわたり、地域の交通としての役割を果たしています。

・乗車前の取組

全社員が出勤時に体温測定を実施。手洗い、うがいおよびアルコール消毒液による消毒を励行し、乗務員と点呼執行者の間に遮断フィルムシートを設置し点呼を実施。

・バス車内での取組

乗務員はマスクを着用。車内は、車内換気装置を作動させ常に換気（窓を閉め切った状態であっても、概ね3～5分程度で車内の空気と外の空気が完全に入れ換わります。）。雨天時等を除き、換気のために一部の窓を開けて運行し、全車両の運転席に遮断フィルムシートを設置。車内最前席は使用を制限し、定期的に車内の消毒を実施。

https://www.keihanbus.jp/announcement_3/index_3.html

・日常の取組の詳細については下記の密着取材のレポートを御覧ください。

「地域の交通を支え続けて約100年」バスの安全、安心、快適性向上への取り組みとは？

https://www.keihan-holdings.co.jp/brand/report/report-42/pdf/vol_42_201912.pdf

【地域の足・公共交通機関を支えましょう】

バス事業者のみなさんは、地域の皆様の交通利便性を損なわないよう、さらなる安全性の確保、業務の効率化等を図るため、一層の努力を重ねておられます。

安全確保のため咳エチケットなどに留意のうえ、積極的に御利用いただき、地域の足・公共交通機関を皆で支えていきましょう。御理解と御協力をお願い申し上げます。

らくなん進都整備推進協議会メールマガジン 第119号 2020/11/2

編集・発行／らくなん進都整備推進協議会 事務局

本メールマガジンに関するお問い合わせ先

mailto : rakunan-shinto@kyoto-nanbu.org

TEL.075-354-8701 FAX.075-354-8704（京都市景観・まちづくりセンター 担当：金森）
